

3年4組 1月25日(月)～ 休校課題

1 課題に取り組む(ノートに解答)

2 解答

※ 今回の課題はテスト範囲です。休校中ではありますが、自主的に学習に取り組みましょう。

3 日本経済の課題

学年	組	番
名前		

1 次の文章を読んで、問いに答えよ。

政府は(1)の大量発行により積極的に不況から脱出をはかる一方、行政経費の節約や①公的事業の民営化が進められた。さらに規制緩和によって企業間の競争を活発にして経済活性化をはかり、こうした構造改革によって不況を脱すると同時に、税収の安定確保にも力を入れた。一方、企業側は経営資金の確保や、株主への配当率を国際的な水準にまで引き上げる必要などから②人件費の抑制をはかった。

戦後最長となった、2002年からの好景気は、成長率は低く、規制緩和も進むなかで、企業は国際競争力を高めようとして、低賃金で人員整理のしやすい(2)を増やした。正社員の賃金や給与も低く抑えられていたため、「(3)」といわれた。

2008年、アメリカ発の(4)による世界的な景気後退により、日本経済もマイナス成長となった。その結果、失業率が上昇。とくに(2)の雇い止めや賃金低下が顕著に生じた。このような要因が、③格差の累積的な拡大をもたらしていると考えられている。

今後の日本経済が直面する課題としては、グローバル化する経済の中での競争力の維持、格差問題の解消、人口減少への対応などがある。これらの課題を乗り越え、一定の経済成長を維持しながら、今後も我が国日本は経済を成長させていく必要がある。

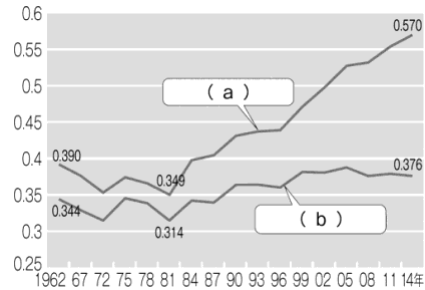
問1 文中の(1)～(4)に入る適語を次のア～コから選び、記号で答えよ。

- ア. 非正規雇用 イ. 不良債権 ウ. 赤字国債 エ. 失われた10年 オ. 移民労働者
- カ. 領土問題 キ. 金融危機 ク. 紙幣 ケ. 産業の空洞化 コ. 実感なき好景気

問2 下線部①について、公的事業の民営化の例をひとつあげよ。

問3 下線部②について、90年代後半からは続く物価の下落の一方で、労働者の賃金抑制が消費需要を減退させ、さらなる物価の下落、企業収益の悪化をもたらす悪循環を何というか。

問4 右のグラフは、所得格差をはかるジニ係数の日本における推移を示したものである。(a)と(b)はそれぞれ何を示しているか、アとイから選び記号で答えよ。



問1	(1)	(2)	(3)	(4)
問2				
問3				
問4	(a)	(b)		

演習課題

- 1 日本の選挙制度における、それぞれの選挙制度の長所と短所を答えなさい
- 2 マスメディアの役割について論じなさい
- 3 インフレーションとデフレーションについて論じなさい
また、それらが経済に与える影響について論じなさい。
- 4 少子高齢化社会とはどのような社会を指しますか。
またそれらが経済にどのような影響を及ぼしますか。
- 5 戦後の日本の経済を支えた産業の変化について説明しなさい。
- 6 円高と円安、日本が貿易の際に有利なのはどちらですか。
またその理由はなんですか。

p134~p135 関連

問1	(1) サ	(2) ア	(3) ケ	(4) イ	(5) ウ	(6) オ
	(7) キ	(8) ク				

問2	(1) タ	(2) ア	(3) イ	(4) ウ	(5) オ	(6) カ
	(7) キ	(8) ケ	(9) コ	(10) サ	(11) シ	(12) ス

(財閥解体) (×)

(×)

(農地改革) (○)

(傾斜生産方式)

(×)

(ドッジライン)

(○)

(シャープ勧告)

(特需)

(もはや戦後ではない)

(高度経済成長)

(国民所得倍増計画)

(公害)

p136~p137 関連

問1	産業構造の高度化			問2	重厚長大 型		
問3	軽薄短小 型		問4	(A) ソフト	(B) サービス		
問1	(a) イ	(b) ウ	(c) ア				
問2	(1) ク	(2) カ	(3) ケ	(4) ア	(5) コ	(6) サ	(7) エ

- (スタグフレーション) (×)
 (第1次石油危機)
 (安定成長) (○)
 (ベティ=クラークの法則)
 (経済のソフト化) (×)
 (日米構造協議) (○)
 (プラザ合意) (○)
 (バブル景気)
 (不良債権)

p 138～p139 関連

問1	(1)ウ	(2)ア	(3)コ	(4)キ
問2	日本郵政公社, 国鉄, 電電公社, 日本専売公社 など			
問3	デフレ-スパイラル			
問4	(a)イ	(b)ア		

- (構造改革) (○)
 (デフレ-スパイラル) (×)
 (実感なき好景気) (×)
 (○)
 (○)